

令和5年度

事業計画書

社会福祉法人 ほっと福祉記念会

1 法人本部

法人本部事業計画

1. 基本方針

利用者

「できません」とは言いません。今できることから行動し、利用者に「満足」「感動」のある福祉サービスを提供します。

地域社会

「笑顔」と「ありがとう」のある地域社会を実現します。

職員

「やる気ほん気」のある職員を応援します。

【第二種社会福祉事業】

- (1) 障害福祉サービス事業
- (2) 移動支援事業
- (3) 障害児通所支援事業
- (4) 障害児相談支援事業
- (5) 一般相談支援事業
- (6) 特定相談支援事業

【公益事業】

- (7) 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）受託経営
- (8) 障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）受託経営
- (9) 地域生活支援事業 受託経営
- (10) 家族サポート事業
- (11) 地域における公益的な取り組み事業
- (12) 精神障がい者向け訓練実施支援事業
- (13) 訪問型職場適応援助事業

2. 法人内監査(予定) 令和6年5月22日(水) 10:00～

3. 理事会の開催(予定)

第1回 令和6年6月5日(水) 13:30～

(令和5年度事業報告、決算報告及び監査報告)
(令和6年度6月補正等)

第2回 令和6年9月4日(水) 13:30～

(令和6年度9月補正予算(案) 他)

第3回 令和6年12月4日(水) 13:30～

(令和6年度事業中間報告、12月補正予算(案) 他)

第4回 令和7年3月26日(水) 13:30～

(令和6年度事業計画及び当初予算(案)、3月補正予算(案))

4. 評議員会の開催(予定)

令和6年6月20日(木) 13:30～

(令和5年度事業報告、決算報告、次期役員選任、令和6年度6月補正)

) 他)

等)

1. 通所拠点 Sweet hot

1) 就労継続支援A型事業計画

1. 基本方針

一般就労が困難な障がい者に対して、雇用契約に基づく就労の機会を提供するとともに、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う。

2. 事業概要

- 名称： 就労継続支援A型事業所 Sweet hot
- 所在地： 郡山市小原田3-10-4
- 出張所： sweethot金屋店・sweet工房（郡山市田村町金屋冬室113-1）
- 定員： 14名
- 職員体制： 管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員2名、職業指導員2名、賃金向上達成指導員2名、その他の職員1名

3. 事業の実施内容

- (1) 生産活動（カフェ業務・弁当業務・菓子製造業務・出張販売・OEM業務）
 - 地域の実情及び需給状況、並びに利用者の意向や適性を考慮し行う。
 - 能率向上が図れるよう、利用者の特性を踏まえた作業工程の工夫を行う。
- (2) 施設外就労
 - 個別支援計画に基づき、様々な職種の企業現場の中で作業を行い、経験し利用者の就労意欲を高め、就職に結び付けさらに就職を目指す。
- (3) 職場実習支援
 - ハローワークや障害者就業・生活支援センター等各関係機関と連携を図り、利用者の就労に対する意向や適性に応じた職種から実習先の確保を行う。
- (4) 求職活動支援
 - ハローワークの求職登録や求人検索等の求職活動支援を行う。
 - ハローワークや障害者就業・生活支援センター等各関係機関と連携を図り、利用者の就労に関する意向や適性に応じた職場開拓を行う。
- (5) 職場定着支援
 - 一般就労へ移行した後の職場定着を促進するため、ハローワークや障害者就業・生活支援センター等各関係機関と連携を図り、職業生活における相談等の支援を継続する。
- (6) 地域生活支援
 - 充実した地域生活を営むことができるよう、利用者の心身の特性に応じて必要な支援を行う。
 - 月一回（最終水曜日）に余暇活動を実施し、充実した休日の過ごし方や生きがい作りの支援を行う。
 - 地域の学生のインターンシップの活用。

2) 就労継続支援B型事業計画 (アクティブ東山)

1. 基本方針

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに生産活動その他の活動を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う。

2. 事業概要

- 名称： 就労継続支援B型事業所 アクティブ東山
- 所在地： 郡山市田村町金沢字高屋敷260
- 定員： 20名
- 職員体制： 管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員3名、職業指導員3名、目標工賃達成指導員1名、調理員他2名

3. 事業の実施内容

- (1) 生産活動(受託作業、弁当製造、配達、販売)
 - 地域の実情及び需給状況、並びに利用者の意向や適正を考慮し行う。
 - 利用者の特性にあわせた支援を行い、環境を整えることで作業能率を上げ、工賃アップにつなげていく。
 - 利用者一人一人にあった働き方を構築するという目標を達成するために、コース選択制を導入し、活動を通して確認し助言等の支援を行う。
- (2) 施設外就労
 - 個別支援計画に基づき、利用者3名と職員1名で実際の企業現場の中で作業を行い、利用者の就労意欲を高め、就職に結び付けさらに工賃アップを目指す。
- (3) 就労支援
 - 一般就労を希望する利用者に対して、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター等各関係機関と連携を図り、求職活動や職場実習職業生活における支援を行う。
- (4) 生活支援
 - 日常生活に必要な基本的なマナーやルールの習得を図る。
 - 対人関係の習得及び向上を図る。
 - 日常生活に必要な時間管理、金銭管理の習得を図る。
 - 健康維持と体力づくりを行い、体調管理について助言等の支援を行う。
- (5) 地域生活支援
 - 新型コロナウイルス感染の状況に応じて、月一回(第3土曜日)に余暇活動を実施し、充実した休日の過ごし方や生きがい作りの支援を行う。
 - 地域貢献の一環として、3ヶ月に1回近隣周辺のゴミ拾いなどを行う。

2. 通所拠点 からふる

(1) 就労移行支援事業計画

1. 基本方針

一般就労を希望する障がい者に対して、一定期間（原則2年間）にわたり、就労に必要な知識及び能力の向上のために訓練を行うとともに、職場実習及び求職活動等を通し、適性にあった職場への就労、定着を図る。

2. 事業概要

- 名称： 就労移行支援事業所 からふる
- 所在地： 郡山市山根町4-12
- 定員： 10名
- 職員体制： 管理者1名、サービス管理責任者1名、
就労支援員1名、生活支援員名2（兼務1名）、職業指導員2名

3. 事業の実施内容

(1) 就労支援

- 働く上で実践的なルールやビジネスマナーの知識、技術の習得を図る。
- 働く上で必要な対人関係の技術習得及び向上を図る。
- 求人検索及び面接等の求職活動に同行し、必要な支援や助言を行う。
- MWS（幕張版ワークサンプル）を実施し、作業の疑似体験や職業上の課題を把握し作業能力の向上、支援の方向性の共有を図っていく。
- 科目別（物流清掃科、接客ビジネス科、製造科）を実施することでより専門性の高いサービスを提供し、ジョブマッチングを図る。

(2) 生活支援

- 日常生活上で基本的な知識、技術の向上を図る。
- 日常生活上で必要な対人関係の技術習得及び向上を図る。
- 余暇活動支援等を通し、生きがいを持ち潤った日常生活が営めるよう各種支援を行う。

(3) 職場実習支援

- 職場実習を通し、希望職種の選定、職域の拡大を図る。
- 企業担当者とのかかわりの中で、対人関係の強化を図る。
- 工賃を支払うことで働く喜びを知り、動機づけを図る。
- 実習先に支援者も同行し、わかりやすく作業内容を提示、助言を行う。

(4) 職場定着支援

- 事業所訪問を行い、本人の状態や職場環境を把握しながら、助言等の支援を行う。
- 障害者就業・生活支援センター等と連携を図り、一般就労後の職場定着支援を行う。
- 本人又は就職先より要請があった場合には、ジョブコーチを派遣し直接支援を行う。

(5) 地域生活支援

- 地域生活を送るうえで、必要な社会資源について助言等の支援を行う。
- 様々な活動を通して、充実した休日の過ごし方や生きがい作りの支援を行う。

(6) 地域連携支援

- 相談支援事業所、特別支援学校、一般高校等と連携を行い、ニーズの収集や新規利用者の獲得を図る。
- 普通高校や専門学校等と連携を図り、将来福祉を希望する生徒を対象にしたインターンシップ研修の充実を図る。

(2) 自立訓練(生活訓練)事業計画

1. 基本方針

自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、一定期間（原則2年間）にわたり、生活能力の維持、向上のために必要な訓練を行う。また、地域社会と連携を図りながら地域生活が営めるよう支援する。

2. 事業概要

- 名称：生活訓練事業所 からふる
- 所在地：郡山市山根町4-12
- 定員：10名
- 職員体制：管理者1名(兼務)、サービス管理責任者1名(兼務)、生活支援員2名(兼務1名)

3. 事業の実施内容

(1) 生活支援

- 日常生活を送るうえで必要な基本的マナーやルールの習得を図る。
- 対人関係の習得及び向上を図る。
- 日常生活を送るうえで必要な金銭管理の習得を図る。
- 健康維持と体力づくりを行う。
- ニーズに応じた個別活動を行う。

(2) 就労支援

- 働くうえで基本的なルールやビジネスマナーの向上を図る。
- 利用期限満期後の働き方や日中生活のあり方について、本人、家族のニーズやアセスメントを基に情報提供や検討していく。

(3) 職場実習支援

- 希望者に対して職場体験の機会を設ける。
- 企業担当者とのかかわりの中で、対人関係の強化を図る。
- 工賃を支払うことで働く喜びを知り、動機づけを図る。
- 実習先に支援者も同行し、わかりやすく作業内容を提示、助言を行う。

(4) 地域生活支援

- 地域生活を送るうえで、必要な社会資源について助言等の支援を行う。
- 地域の各種行事や教室などに参加し、生活の質を高める。

(5) 訪問型支援

- 心身状態の変化や在宅期間の長期化等に伴い通所のサービス提供が困難な方に対し、訪問等のサービスを提供していく。
- 就労後の通院同行や職場定着支援、生活面での支援等個々に必要なサービスの提供を行う。

(6) 地域連携支援

- 相談支援事業所、特別支援学校、一般高校等と連携を行い、ニーズの収集や新規利用者の獲得を図る。
- 普通高校や専門学校等と連携を図り、将来福祉を希望する生徒を対象にしたインターンシップ研修の充実を図る。

(3) 就労定着支援事業計画

1. 基本方針

障がいを持っていても就労が安定し定着することで、安心して自立した生活又は社会生活を送ることが出来る支援体制の構築を図る。

2. 事業概要

- 名称： 就労定着支援事業所 からふる
- 所在地： 郡山市山根町4-12
- 契約者数： 13名（令和5年3月末）
- 職員体制： 管理者1名(兼務)、サービス管理責任者1名(兼務)、
就労定着支援員1名

3. 事業の実施内容

就労移行支援等（生活介護、自立訓練、就労移行支援または就労継続支援）の利用を経て、6ヶ月を経過した後も引き続き就労の継続を図るために、企業、障害福祉サービス事業者、医療機関等との連絡調整や就労に伴い生じた生活面の課題解決等に向けた支援を行う。

- (1) 本人との面談をはじめ、企業への訪問を月1回以上行う。
- (2) 生活面の支援が必要な場合は、家庭訪問等を実施する。
- (3) 他の関係機関と情報交換をし、必要な支援体制の構築を図る。

3. 通所拠点 からふるプラス

生活介護事業計画

1. 基本方針

常時介護が必要な障がい者に対して、3事業所の特色を生かし援助付きの自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護や、創作的活動並びに生産活動等を行い、心身のリフレッシュを図るとともに社会参加の機会を提供する。

2. 事業概要

- 名称：生活介護事業所 からふる+
- 所在地：郡山市昭和1-9-19
- 従たる事業所：郡山市富久山町久保田字本木3-7
- 出張所：郡山市芳賀1-17-5
- 定員：30名
- 職員体制：管理者1名、サービス管理責任者1名、生活支援員17名
看護師1名

3. 事業の実施内容

- (1) 介護サービス
 - 食事、整容、更衣、排せつ等生活全般に関わる介護を行う。
- (2) 健康管理
 - ご家族や各関係機関等と連携を図り、バイタルチェックや投薬管理等を行い、健康管理を行う。
- (3) 創作的活動
 - 利用者の特性及び適性に合った素材や環境を提供し、制作活動を行う。
 - 利用者の体調や意欲等に合わせ活動を行い、集中力向上と心身のリフレッシュを図る。
- (4) 生活訓練
 - 日常生活を送るうえで必要な基本的な訓練を行う。
- (5) 地域生活支援
 - 社会資源を利用した外出や、近隣地域の交流等を行う。
- (6) 生産活動
 - 授産製品（弁当）の配達等、利用者の適性に合った働く機会を提供する。
- (7) 休日開所（芋煮会も含む）
 - 各事業所で、月平均21日休日を含め開所する。休日開所8日を含む。芋煮会は9月に開催する。（新型コロナの影響により変更する場合あり）

4. 相談拠点 地域生活支援センター ふっとわーく

県中地域障害者就業・生活支援センター事業

(1) 雇用安定等事業計画

1. 基本方針

就職や職場への定着が困難な障がい者等に対し、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行う障害者就業・生活支援事業を実施し、障がい者等の職業生活における自立を図る。

2. 事業概要

- 名称： 県中地域障害者就業・生活支援センター ふっとわーく
- 所在地： 郡山市小原田2-4-7（地域生活支援センターふっとわーく内）
- 職員体制： 主任就業支援ワーカー1名
就業支援ワーカー5名
主任職場定着支援ワーカー1名
- 支援対象 県中圏域（3市6町3村）
地域： 郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、石川町、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町、天栄村、玉川村
（県中圏域管轄外の市町村 本宮市、大玉村、二本松市等）

3. 事業の実施内容

(1) 企業開拓

- 電話での実習依頼や企業訪問をし、実習先の開拓及び職場実習のあっせんを行う。
- 就労希望者及び企業ニーズを的確に把握し、適切なジョブマッチングを行う。
- 企業を対象に障がい者雇用に関する啓発活動を行う。

(2) 相談（職業生活に関すること・職場定着支援）

- 就労を希望している障がいのある方等を対象に相談を行う。
- ケアマネジメントの手法に基づき、就労や職場実習を行う。
- 企業からの障がい者雇用についての相談や在職者の職業生活上での課題等に対応する。
- アセスメント機能の充実（MWS・個別プログラムの活用・MSFAS・GATB等）
- 主任職場定着支援担当者の配置によりジョブコーチ・定着支援全般に関するマネジメント機能の確立を図る。

(3) 運営連絡調整会の開催

- 関係機関との連携強化を図り、一体的かつ総合的な支援体制（チーム支援）を構築する。

(4) 職業準備支援の受講促進及び職場実習のあっせん

- 就職前の訓練として企業で必要な基本的な労働習慣の体得、対人対応能力の向上を図る。

(5) 就業支援のためのスキルアップ研修の参加

- 就業支援者の業務内容に関する事柄について研修を通して自己研鑽を図る。

(6) 本人会開催のサポート

- 障がいのある方等の会合で、情報提供等必要に応じてサポートする。

(7) 交流会・勉強会の開催

- 障がいのある方等に対して、情報交換・勉強会等のサポートをする。

(8) 移動相談

- 支援対象圏域の面積が一定規模以上に大きい地域において、定期的に移動相談を行うことにより、利用者の利便性の向上や地域の支援ニーズの掘り起こしを図り地域における支援体制の充実を図る。

(2)生活支援事業計画

1. 基本方針

障がい者等の希望に基づく地域生活支援を行い、家族、企業、バックアップ施設及び各関係機関との連携を図り、就業面及び生活面での一体的な支援を行う。

2. 事業概要

- 名称： 県中地域障害者就業・生活支援センター ふっとわーく
- 所在地： 郡山市小原田2-4-7（地域生活支援センターふっとわーく内）
- 職員体制： 生活支援員2名（兼務1名）

- 支援対象 県中圏域（3市6町3村）
地域： 郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、石川町、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町、天栄村、玉川村
（県中圏域管轄外の市町村 本宮市、大玉村、二本松市等）

3. 事業の実施内容

(1) 地域生活支援

- 福祉施設やサービス事業所の紹介や見学同行などを行う。
- 福祉制度を有効に利用できるよう、情報の提供や手続き等の支援同行を行う。
- 不動産業者との交渉や公営住宅の申請等の支援を行う。
- 職場への通勤支援や病院への通院同行を行う。
- 余暇活動の支援やボランティアセンターを活用した情報提供を行う。
- 上記を踏まえ、相談支援事業所と連携しながら支援を行う。

(2) 職業生活を高める支援

- 職場で抱える悩みの相談にのり、仲間づくりや本人らが話し合える場の提供を行う。
- 社会生活能力を高めるため、個別の自立生活プログラムの作成・実施を行う。
- 日常生活を送るうえで本人に必要な勉強会を開催する。

(3) 職場定着支援

- 企業での人間関係の調整を行う。
- 家庭訪問や定期的な面談を行い、家族を含めた就労後のフォローアップを行う。
- 事業主に対する障害特性の相談や職場定着における支援を行う。
- 健康管理や金銭管理等、社会生活に必要な助言を行う。

(4) 関係機関との連携

- 学校、福祉、医療機関等、各関係機関との連携を図り、地域の中で本人の生活を支える仕組み作りを行う。また、本事業の理解を促進するため、ネットワーク構築に努める。

(3) 訪問型職場適応援助事業計画

1. 基本方針

職場への適応に課題がある障がい者に対して、就職前後に関わらず、職場で訪問型職場適応援助者（※以下、ジョブコーチ）による支援を実施し、家族や企業との連携のもと、きめ細かな人的支援を行い、雇用の促進と安定を図る。

2. 事業概要

- 名称： 県中地域障害者就業・生活支援センター ふっとわーく
- 所在地： 郡山市小原田 2-4-7（地域生活支援センターふっとわーく内）
- 職員体制： ジョブコーチ 2名（兼務 1名）

- 支援対象 県中圏域（3市6町3村）
地 域： 郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、石川町、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町、天栄村、玉川村
（県中圏域管轄外の市町村 本宮市、大玉村、二本松市等）

3. 事業の実施内容

- (1) ジョブコーチによる支援事業
 - ハローワーク等各関係機関からの依頼を受け、ジョブコーチ支援を実施する。
- (2) 職場定着支援
 - ジョブコーチによる支援期間終了後も面談や企業訪問等の継続した支援を行う。
 - 各関係機関との連携を強化し、職場定着の推進を図る。
- (3) 企業開拓
 - 就労希望者のニーズを把握し、雇用先・実習先の情報収集や企業開拓を行う。
 - 仕事内容の割り出しや作業内容の構築等、適宜企業と相談・調整を行う。
- (4) 連携体制（就労前支援）
 - 特別支援学校等の教育機関との連携強化
高校卒業後等、職業生活へスムーズに移行できるよう、進路指導担当者と協力体制をとり、適宜情報共有・検討の場を設ける。
また、在学中の職場実習時から支援に介入し、就労時のジョブコーチ支援へ繋げる。
 - 各就労移行支援事業所等との連携の強化
就労準備段階から介入し、就労希望者のアセスメント・企業マッチングを図る。就労前の職場実習から支援に介入し、就労後のジョブコーチ支援へ繋げる。

(4) 相談支援事業計画

1. 基本方針

障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、障がい福祉サービスの利用支援、権利擁護のために必要な援助を行う。また、障がい者が地域で自立して生活していくために、自立支援協議会を運営し、地域のネットワーク体制の構築及び運営強化、権利擁護や成年後見制度等の活用、障がいのある方々の就労や生活全般にかかる相談支援体制の整備を図ることを目的とする。

2. 事業概要

- 名 称： 相談支援事業所 ふっとわーく
- 所 在 地： 郡山市小原田2丁目4-7（地域生活支援センターふっとわーく内）
- 職員体制： 委託相談2名、計画相談3名

- 支援対象 主に郡山市（その他の地域に関しては、必要性に応じて検討する）
地 域：

3. 事業の実施内容

- (1) 相談、福祉サービスの利用援助（情報提供、相談、手続き、計画作成等）
 - 日常生活全般に関する相談に応じる。また、サービスの提供方法を理解しやすいよう説明を行うとともに、サービス等利用計画の作成についても必要に応じて実施する。
- (2) 社会資源を活用するための支援（各種支援施策に関する助言・指導等）
 - 各種支援施策に関する助言を行い、生活していくうえで社会資源を有効に活用するとともに、既存の社会資源をつなぎ合わせる。
- (3) 社会生活力を高めるための支援
 - 社会生活上における助言や支援を行い、社会生活力の確保・向上に努める。
- (4) 権利擁護のために必要な支援
 - 契約等の判断をすることが不安な方、日常生活に不安を抱えている方などに対して、自立した地域生活が安定して送れるように福祉サービスや成年後見人制度等の利用援助を行う。
- (5) 関係機関との連携、ネットワーク構築
 - 行政、福祉、医療、教育等の関係機関と連携を図るとともに、必要な専門機関の紹介を行う。
また、関係機関とのネットワークを構築し、地域生活を支えるシステム作りに努める。
- (6) 地域自立支援協議会の運営
 - 行政機関、サービス提供事業者等の関係者が福祉、就労、保健医療等のサービスを総合的に調整し、障がいの有無に関わらず、安心して暮らせる地域づくりを進めていくために設ける地域自立支援協議会の運営を行う。

5. 居住拠点 グループホーム「楽」

共同生活援助事業計画

1. 基本方針

障がい者に居住の場を提供し、地域の中で自立した生活を営むことができるよう、必要な支援を行う。

2. 事業概要

- 名称： 障害福祉支援事業所「楽」
- 所在地： 郡山市水門町10-2
- 設置数： 6ヶ所、サテライト1ヶ所
- 定員： 29名
- 職員体制： 施設長1名、サービス管理責任者1名(兼務)、支援員3名
看護師1名、常勤世話人1名 非常勤世話人15名

3. 事業の実施内容

(1) グループホーム利用者支援

- 利用者の個別ニーズに合わせた包括型共同生活援助実施
- 定期訪問(随時)
各グループホームを訪問し、利用者の生活面での支援を行う。
- ホーム会議の開催(利用者の意向による)
生活状況や、それぞれの意見について話し合い、利用者が望む生活しやすい空間を作っていく。
- 誕生会、クリスマス会の実施(利用者の意向による)
- 地域での町内会活動への参加(清掃活動、お祭り等)
- 余暇支援
利用者の希望に合わせ、コロナ感染状況を観察しながら少人数でのカラオケやボウリング等を行う。また、移動支援や他の福祉サービスを受けるための予約や調整を利用者と一緒に行う。
- 通院同行・金銭管理・行政手続きなどの代行。
- 新型コロナウイルスの感染予防の徹底。ホームでの生活様式の見直しを行う。
- 必要に応じてSARSコロナウイルス抗原キットによる検査を行う。(看護師)

(2) 世話人の報告会、研修会等の実施

- 世話人報告会(月1回)
会計の精算、各グループホームでの問題点や当該月の予定等について話し合う。利用者の個別支援計画に基づくモニタリングを行う。
- ケア会議開催(ケース毎に開催)
利用者の支援方法について検討する。
- グループホーム研修会の参加
世話人、スタッフのスキルアップを目指した研修会への参加を行う。
虐待防止研修を行う。
世話人の勉強会を行う。(年1回)
- 他法人との合同研修会(2カ月に1回)
他法人のグループホーム担当者と研修会を通してスタッフの人財育成及び交流を促進する。(市内コロナウイルス感染状況により休止中)

(3) ホームの老朽化に伴う、新しい物件探し。

- 「輪」と「進」の住み替えについて検討する。

(4) 成年後見人等の準備

- 利用者や家族の高齢化に伴い身元引受の変更など確認を行う。

6. 在宅拠点 おひさま

(1) 居宅介護・重度訪問介護・行動援護・ 移動支援事業計画

1. 基本方針

利用者が居宅において日常生活を営むことができるよう、身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事等の介護を行う。
また、調理、洗濯及び掃除の家事支援、生活における相談及び助言並びに外出時の介護を適切に行う。

2. 事業概要

- 名称： 居宅介護事業所 おひさま
- 所在地： 郡山市富久山町久保田字本木3-7
- 職員体制： 管理者1名、サービス提供責任者1名、訪問介護員3名

3. 事業の実施内容

(1) 居宅介護

- 個別支援計画を作成し、障がい者(児)の居宅において入浴・身体の清拭・洗髪・排泄・食事・衣服の着脱、その他必要な身体の介護や通院時の介助を利用者に負担やストレスを与えず支援する。

(2) 重度訪問介護

- 重度の肢体不自由者であって、常時介護を必要とする障がい者(児)が食事や排泄などの身体介護、調理や洗濯などの家事支援、外出時における移動介護等を総合的に行う。

(3) 行動援護

- 常時介護が必要な知的障がいや精神障がい者(児)に対して、行動時の危険を回避するための援護や外出時の移動中の介護、排せつ及び食事の介護、その他行動する際に必要な支援を行う。

(4) 移動支援

- 社会生活上必要不可欠な外出や社会参加促進を目的とした外出等を、本人の特性やニーズに合わせ、安全面に考慮し支援する。

(2) 家族サポート事業(レスパイト)事業計画

1. 基本方針

国または市町村が定める障害福祉サービスを利用することが出来ない場合、若しくはその支給量を超えた場合に、私的契約に基づき障がい者(児)をもつ保護者・家族を、一時的に介護から解放し“ほっと”一息つけるようなサービスの提供を行う。

2. 事業の実施内容

(1) 緊急支援

○冠婚葬祭等のご家族の都合に合わせた一時的なお預かり。

(2) 家族支援

○日常的にケアしている家族の一時的な休息のための利用。

7. 児童通所拠点

(1) 児童発達支援・放課後等デイサービス事業計画

1. 基本方針

利用者が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、利用者の身体及び精神の状況、その置かれている環境に応じて支援や訓練を行う。

2. 事業概要

- 名称：児童発達支援事業所 らくりあ
- 所在地：郡山市朝日1丁目4-7
- 定員：児童発達支援10名
- 職員体制：管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、支援員7名

- 名称：放課後等デイサービス事業所 そらば
- 所在地：福島県郡山市開成6丁目-201-10
- 定員：放課後等デイサービス10名
- 職員体制：管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、支援員4名

- 名称：放課後等デイサービス事業所 れいるu
- 所在地：福島県郡山市芳賀1丁目7-21
- 定員：放課後等デイサービス10名
- 職員体制：管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、支援員5名

- 名称：放課後等デイサービス事業所 れいるd
- 所在地：福島県郡山市芳賀2丁目3-16
- 定員：放課後等デイサービス10名
- 職員体制：管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、支援員5名

- 名称：放課後等デイサービス事業所 れんと
- 所在地：福島県郡山市池ノ台19-33
- 定員：放課後等デイサービス10名
- 職員体制：管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、支援員4名

3. 事業の実施内容

日中活動として遊びや療育活動を通して、日常生活における基本的な動作の支援、集団活動への適応訓練などを行い、利用者が様々な生活場面において技術を活用しているように、適切かつ効果的な援助・支援を行う。
事業の実施に際しては、安全に対する十分な配慮と新しい生活様式を取り入れたサービスの提供をする。

(1) 遊び

- 楽しく遊び、物事に集中する力や継続する力を養い、友達とかかわることや体力の増進を目指す。

(2) 個別療育

- 個別の対応で、言葉や文字・作業的な学習を通して、生活に必要な動作や具体的なコミュニケーション方法などを習得する。

(3) 集団療育

- 集団の遊びや活動の中で人とのかかわりを通して、人との関係性や社会のルール、コミュニケーションの楽しさを習得する。

(4) 地域・法人連携

- 自立支援協議会の参画や他相談支援事業所や教育機関との連携を密に図り、広く情報共有を行い、支援スキルの向上を目指す。
- 外部ボランティアも定期的に受け入れ交流を図るとともに、地域住民・消防団との連携を図り、防災に関する連携した体制を構築する。

(5) 年間行事

- 地域交流（町内文化祭への出品、地域行事への参加等）
- 季節ごとの行事（世代間交流、花見、プール遊び、クリスマス会、初詣等）
- 資源の活用（公園遊び、買い物学習、電車やバスの利用体験等）

(2) 日中一時支援事業計画

1. 基本方針

学校や通所施設が終了した後の活動の場を提供するとともに、保護者の休養の際や冠婚葬祭、その他の理由等により、保護することができない際に、保護者の負担を少しでも軽減できるよう一時的に児童を預かり日常生活上の援助・日中活動の支援等を行う。

2. 事業概要

- 名称： 日中一時支援事業所 遊
- 所在地： ①郡山市亀田西67
②郡山市田村町金沢字高屋敷260（アクティブ東山内）
③郡山市昭和1-9-19（生活介護からふる+内）
④郡山市富久山町久保田字本木3-7（生活介護からふる+内）
- 定員： 20名
- 職員体制： 管理者1名、支援員3名（亀田）

3. 事業の実施内容

事業の実施に際しては、安全に対する十分な配慮をして実施する。特に、感染症に関する対策を徹底して行い、安全に活動する。

- (1) 学童保育
 - 学校や通所施設が終わった後に活動する場として提供する。
 - 学校等が長期休暇の場合に活動する場として提供する。
 - 遊具やおもちゃで楽しく遊び、それぞれの宿題など勉強等も行う。
 - おやつを提供。
- (2) 日中活動支援
 - 在宅生活の方の日中活動の場。
 - 学校等が長期休暇の場合の日中活動の場。
- (3) 緊急支援
 - 冠婚葬祭等のご家族の都合に合わせた一時的なお預かり。
- (4) 家族支援
 - 日常的にケアしている家族の一時的な休息のための利用。

8. 小野拠点 ふえんて

多機能型事業所事業計画

1. 基本方針

- 1) 小野町と障害福祉の架け橋を創造し、小野町の計画にもある「やさしさふれあう福祉のまちづくり」を実現する
- 2) 利用者一人一人の〇〇がしたいにあわせたオーダーメイドのサービスを目指す
- 3) 小野町民に知って、見て、来ていただく事業所を目指す。

2. 事業概要

- 名称： 多機能型事業所ふえんて
- 事業内容： 就労継続支援B型・生活介護・日中一時・家族支援・居場所支援
- 開所年月日 44, 774
- 定員： 20名（生活介護6名・就労継続支援B14名）*ニーズによって若干の変更あり
- 職員体制： 管理者1名、支援員7名

- 名称： 日中一時支援事業所 ふえんて
- 所在地： ①田村郡小野町大字小野新町字七合田67番地4
②田村郡小野町大字浮金字林内177

- 定員： 20名
- 職員体制： 管理者1名、支援員7名

3. 事業の実施内容

事業の実施に際しては、利用者一人一人にあわせたオーダーメイドなサービスを提供する。地域力をお借りしながら、地域に必要とされる事業所になる。

- (1) 就労支援
 - 法人内の就労系事業所と連携して弁当の営業拡充を行う。内部×連携
地域の御用聞き屋に対価をつけた仕事づくりと農業との連携 浮金×仕事
- (2) 日中活動支援
 - 利用者一人一人にあわせたオーダーメイド支援
- (3) 緊急支援
 - 冠婚葬祭等のご家族の都合に合わせた一時的なお預かり。
- (4) 家族支援
 - 日常的にケアしている家族の一時的な休息のための利用。
 - 親の会活動のバックアップや当事者会のバックアップ
 - 家族が気軽に相談できる居場所づくり
- (5) 当事者支援
 - パラ・スポーツの推進・小野さくらのバックアップ
 - 生きにくさを抱えている子供たちの居場所づくり
- (6) 普及啓発・アート活動・イベント活動
 - 関係機関とコラボしながら普及啓発の各種セミナーの開催
 - 地元アーティストとコラボによる表現活動
 - 浮金小学校を活用したイベントの開催